

まる 男で○、まる 女で○、にじゅうまる 共同作業で◎。

その表現、大丈夫？

性別に基づく固定観念にとらわれない、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現にすることが求められています。今回は、書類、チラシ、広告物での表現について見直してみましょう。あなたの周りの印刷物には男女共同参画の視点が入っていますか？

● 性別によってイメージを固定した表現になっていませんか？

● 男女を対等な関係で描いていますか？



無意識に使っているそのイラスト、大丈夫ですか。性別による固定的な役割分担を強調したり、性別で職業を分ける表現ばかり用いるのではなく、男女が仕事や家事・育児で協力したり、様々な職業に就いたりしている現実を反映させる表現を心がけましょう。



男性を中心的な存在・指導者的な立場・守る側として、女性を周辺の存在・従属的な立場・守られる側として描かず、男女は対等で、地位や立場も様々であることを示す表現を心がけましょう。



女性は補助的な仕事をするものとして描かないようにし、性別で役割を固定化しないようにしましょう。



子育て、家事は女性がするものとして描いていませんか。男性も女性もともに家事や育児に参加しています。



上司は男性、お茶くみは女性、会議の参加者は男性ばかり…。そんな表現していませんか？地位や立場も様々であることを示す表現にしましょう。



● 性別を強調する表現はありませんか？



男の子も女の子も様々な遊びをしています。性別で遊びを分けて描いていませんか。



父親を大きくしたり、母親を後ろにすることなく、父親も母親も同じくらいの大きさで表現することが求められます。

サラリーマン・OL	⇒	会社員
カメラマン キーマン	⇒	写真家、フォトグラファー キーパーソン
主人・旦那・家内・奥さん	⇒	夫・妻・配偶者・パートナー
保母 看護婦 保健婦 スチュワーデス	⇒	保育士 看護師 保健師 客室乗務員・キャビンアテンダント



「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担を強調するような表現は良くないだね。

好みや行動は人それぞれだからね。男女それぞれを幅広いイメージで表現することが大切なのね。



男女双方が想定された表現になっているか、男女がバランスよく登場しているかを気を付けないと、無意識に偏った表現になってしまうかもしれないね。



価値観も多様化しているし、男性も女性も、さまざまな職業、働き方をしているから、男女に特有な表現をしていないか、確認することが必要ね。



【参考】内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」